

これまでの検討過程で交わされた論点とつながる展示事例をまとめました。

A. 今日性と時代性

事例01：デジタル・マンガ・エンタメなどアートで現代を横断する
(A Quarter-Century of Japan Media Arts Festival：文化庁メディア芸術祭)

B. 公園と連動する

事例02：市民に愛着をもってもらうには...
(1000RE SCENES：千里中央公園)

C. 音楽ホールとのつながり

事例03：楽器とアートの融合
(SOUND&ART：アーツ千代田3331)
事例04：音楽と楽器をより身近に
(レクチャーコンサート・体験型WS：浜松市楽器博物館)

D. 地域特性を活かす

事例05：地域の風物（絹）に着想を得る
(ファンファーレ 扇の舞：鶴岡アートフォーラム)
事例06：地域の名産（和紙）をアートに変換
(街の灯り：徳島LEDアートフェスティバル2016)

E. 市民が参画する

事例07：市民と美術館の関係性を再考（再興）する
(あなたをうつす5つの鏡：大阪新美術館建設準備室×enoco)